

令和 6 年 3 月

伊東市議会 3 月定例会

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊 東 市 議 会

## 予 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 正 風 ク ラ ブ 佐 藤 周 君  
(2月29日(木) 10時～11時30分)
- 2 自 由 民 主 伊 東 井 戸 清 司 君  
(2月29日(木) 13時～14時30分)
- 3 公 明 党 篠 原 峰 子 君  
(2月29日(木) 14時40分～15時40分)
- 4 伊 東 未 来 大 川 勝 弘 君  
(3月4日(月) 10時～11時)
- 5 政 和 会 杉 本 憲 也 君  
(3月4日(月) 11時10分～11時55分)
- 6 颯 田 久 保 眞 紀 君  
(3月4日(月) 13時～13時45分)
- 7 会派に所属していない 犬 飼 こ の り 君  
(3月4日(月) 13時55分～14時20分)
- 8 会派に所属していない 重 岡 秀 子 君  
(3月4日(月) 14時20分～14時45分)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

正風クラブ 佐 藤 周

1 令和6年度市長経営方針の「輝く伊東の未来を創る、改革への挑戦」の主要事業について、以下5点伺う。

(1) 長期ビジョン策定事業の内容について伺う。

(2) 伊東港・伊東港海岸整備基本構想策定事業の内容について伺う。

(3) 重点施策とするデジタル化の推進について、庁内無線LAN環境整備事業の内容を伺うとともに、それに伴うセキュリティ対策について伺う。

(4) タブレット一体型PC導入事業の内容及び見込まれる効果について伺う。

(5) 業務改善研修開催事業の内容について伺う。

2 歳入の根幹である市税について、現状の市内経済をどのように把握し積算したのか伺う。

3 防災面において、二次避難や災害関連死などの新たな課題が出てきた中、「安全で安心して暮らせるまち」に係る事業について、以下2点を伺う。

(1) 静岡県・伊東市総合防災訓練事業の実施内容について伺う。

(2) 総合防災ガイドブック作成事業の内容について伺う。

4 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」に係る事業について、以下2点伺う。

(1) 健康づくりへの支援については、コロナ禍が収束したことで積極的に関与していただける状況に戻りつつあることから、がん検診などの受診勧奨や健康づくりへの取組について伺う。

(2) 国民健康保険事業特別会計に関し、以下2点伺う。

ア 厚生労働省の令和4年度国民健康保険実態調査報告によると、国保加入者の世帯主の職業区分割合は、国全体では無職と被用者が合わせて75%以上を占めているが、本市における世帯主の職業区分割合を伺う。

イ 本市の国民健康保険税の課税対象世帯数に占める軽減措置対象世帯数と賦課限度額を超える世帯数の割合を伺うとともに、国のそれぞれの割合との比較状況について伺う。

5 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」に係る事業について、以下2点伺う。

(1) 昨年、下水道使用料の引上げを見送った下水道事業について、以下3点伺う。

ア 下水道施設の耐震化と長寿命化のための整備計画について伺う。

イ 健全経営に向け、有収率向上への取組について伺う。

ウ 受益者負担の原則に基づく適正な下水道使用料設定の検討状況について伺う。

(2) 安定供給が求められる水道事業について、人口減少に伴い給水戸数、給水量ともに減少していく難しい経営環境である中、老朽管路の更新や耐震化、燃料費高騰等や災害への対応など課題が多いと感じることから、それらへの取組について伺う。

- 6 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」に係る事業について、以下3点伺う。
- (1) 移住定住の促進として新たに行う、移住定住促進住宅改修支援事業の内容及び見込まれる効果について伺う。
  - (2) 伊東マリンタウンのプロムナード整備事業の概要を伺うとともに、見込まれる効果について伺う。
  - (3) 地域課題解決型プラン推進事業の内容について伺う。
- 7 市長施政方針において、重点施策とする子育て支援や教育分野に係る事業について、以下5点伺う。
- (1) 子ども・子育て支援事業計画策定事業について、その事業内容とともに、こども家庭庁が定めたこども大綱の「こどもまんなか社会」の実現に向けた支援施策の方向性や目標等をどのように定めていくのか伺う。
  - (2) 伊東市立小・中学校再編事業の内容を伺う。
  - (3) 中学校の部活動指導の地域移行の先行事業として実施する中学校部活動指導委託事業の内容を伺うとともに、地域移行の今後の見通しを伺う。
  - (4) 小・中学校の学校施設の維持、補修等を学校判断で行うことのできる学校施設維持補修事業費について、本市における小・中学校校舎の面積や建築年数等を踏まえた中で、妥当な予算額であるか本市の見解を伺う。
  - (5) 市立保育園使用済紙おむつの自園処分事業の内容及び導入経緯について伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

自由民主 伊東 井 戸 清 司

令和 6 年度各会計予算案及び施政方針に関し、以下 10 点伺う。

- 1 施政方針において、「『未来を拓く取組』の一層の進展を目指す積極型予算案としてまとめた」とのことであるが、令和 4 年度決算を踏まえ、本予算案のどのようなところに重点を置き、また、特に積極的な予算とした部分はどのようなところか伺う。
- 2 施政方針における新年度予算の概要に関し、以下 3 点伺う。
  - (1) 市税収入が減少する見通しの中、歳入における市税の構成比率が 35.6%と低く、その他の構成比率をみると地方交付税が 15.8%、額にして 46 億 5,000 万円、対前年度比 2 億 5,000 万円の増額、地方特例交付金が 0.9%の構成比率で、額にして 2 億 7,000 万円、対前年度比で 2 億 4,000 万円の増額、さらには対前年度比 1 億 1,970 万円と減額となっている市債は、構成比率が 3.8%、額にして 11 億 2,620 万円であり、依存財源の比率が高いと考えるが、このような状況をどのように分析しているのか伺う。
  - (2) 自主財源の内訳として、寄附金、繰入金、さらには諸収入において競輪事業による収益事業収入等の構成比率が高いことについて、どのように考えているのか伺う。
  - (3) 一般会計における特別職、一般職、会計年度任用職員を含む人件費が、1 億 6,087 万円の大幅な増額となっているが、本予算案及び今後の予算編成における影響について伺う。
- 3 「市制 100 周年を視野に長期的な視点で本市の課題やあるべき姿を捉えるため、長期ビジョンや重点プロジェクト等の検討を進める」とあるが、本市における現状の課題をどのように分析しているのか伺うとともに、本市のあるべき姿について、市長はどのように考えているのか伺う。

4 北陸地方に大きな被害をもたらした令和6年能登半島地震により、本市においても、これまでも増して災害対策の強化に努めていかなければならないと改めて強く認識する旨が述べられたことに関し、以下3点伺う。

(1) 本予算の中で災害対策において強化された部分はあるのか伺う。

(2) 上下水道に関し、災害時への備えとして、配管材等の確保及び応援給水体制等の協力体制の確立をどのように進めていくのか伺う。

(3) 防災減災のまちづくりについて、長期ビジョンや伊東港・伊東港海岸整備基本構想にどのように反映させていくのか伺う。

5 「総合計画を推進するための土台づくり」において、健全かつ持続可能な財政運営のため、自主財源の確保は喫緊の課題であり、老朽化したインフラ整備、少子高齢化の進展による社会保障費の負担増加などに対応するためには、市税等の徴収体制の強化や税制度の周知などの納税環境の拡充だけでは到底賄えるものではなく、市有財産を有効活用するなどの積極的施策展開が必要であると考えているが、いかがか。

6 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」について、以下2点伺う。

(1) 企業誘致について、以前より実施しているサテライトオフィス等支援事業のこれまでの実績及び評価を伺うとともに、それを踏まえ、本予算にどのように反映されたのか伺う。

(2) 農林水産業の振興について、6次産業化による商品開発は必要不可欠であるが、1次産業のさらなる活性化について本予算にどのように反映されたのか伺う。

7 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」について、以下2点伺う。

(1) はじめよう I T O新生活応援事業に関し、これまでの実績及び課題について伺うとともに、本予算における増額理由及び今後の方向性について伺う。

(2) 認定こども園に関し、市立認定こども園整備事業が新たに予算計上されているが、具体的にどこの地区から整備を進めていくのか伺う。また、設置される協議会については、地元関係者には当然のことながら参加していただくものとするが、今後の事業の進め方について伺う。

8 一般会計歳出について、以下3点伺う。

(1) 第7款観光商工費について、以下3点伺う。

ア 海岸等維持管理事業について、海水浴場安全管理業務委託料が505万5,000円の増額となった要因を伺う。

イ 観光宣伝事業について、200万円の増額とした外国人観光客誘致活動推進事業委託料の具体的な事業内容を伺う。

ウ 商工業振興補助事業における以下の事業について、増額要因を伺う。

(ア) 中小企業振興対策事業補助金

(イ) 小口資金貸付金利子補給金

(ロ) 経営安定資金貸付金利子補給金

(ハ) 経済変動対策資金貸付金利子補給金

(2) 第8款土木費における重要景観形成地区指定事業の具体的な内容について伺う。



(3) 第10款教育費について、以下4点伺う。

ア 教育支援事業が大幅に増額されているが、各支援員等の現状を伺うとともに、新たな配置について伺う。

イ 小・中学校における特別教室への空調設備設置事業及び校舎照明設備LED化事業に関し、その実施内容及び時期について伺う。

ウ 市立幼稚園管理事業の増額要因について伺う。

エ 社会体育費について、ジャパン・マウンテンバイク・カップ負担金として200万円計上されているが、その費用対効果をどのように見込んでいるか伺う。

9 競輪事業特別会計について、第9回ウィナーズカップの売上見込額を80億円とした要因を伺う。また、開催運営業務委託料として12億8,867万9,000円計上されているが、年間を通じた委託額であるのか、また、増減はあるのかについて伺う。

10 介護保険事業特別会計については、今後も会計規模が増大していくものと推察できるが、今後の一般会計繰入金の推移見込みと基金繰入金の減額要因について伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

公明党 篠 原 峰 子

令和6年度予算案及び市長施政方針について、以下10点伺う。

- 1 令和6年度の市長経営方針を「輝く伊東の未来を創る、改革への挑戦」とし、「安全・安心な市民生活を実感でき、一人ひとりが輝き、夢と希望を形にできる未来の実現」と述べられたが、主にどのような取組がこの方針の中核になっているのか伺う。
- 2 「みんながつくる伊東市」に関する事業について、以下2点伺う。
  - (1) 子どもの貧困対策計画策定事業の内容を伺うとともに、計画を策定することで期待する効果を伺う。
  - (2) 子ども・子育て支援事業計画策定事業の内容を伺うとともに、次期計画における重点内容を伺う。
- 3 「みんなが楽しい伊東市」における主な事業である新図書館建設事業は、現在、再設計に向けたアンケートを実施しているが、事業費縮減のためのリサイズにより、これまでの市民の意見がどの程度生かされるのか不安視する声も聞くことから、縮減に向けた検討が見込まれる機能を伺うとともに、市長の考える「夢と未来を育む図書館」とはどのようなものであるか伺う。
- 4 「みんなが暮らす伊東市」について、以下4点伺う。
  - (1) 移住定住促進住宅改修支援事業の概要について伺う。
  - (2) 地方就職学生支援事業の概要について伺う。

- (3) 「DXの推進に向けた取組として、宇佐美及び八幡野コミュニティセンターと生涯学習センターひぐらし会館に公衆無線LANを整備」するとのことであるが、期待される効果を伺うとともに、そのほかの公共施設への整備の見通しについて伺う。
- (4) ひきこもり等相談支援事業の内容を伺う。
- 5 「安全で安心して暮らせるまち」において、総合防災ガイドブックを更新するとのことであるが、その更新内容を伺うとともに、本年1月発生 of 令和6年能登半島地震の教訓を踏まえた視点からの更新としていくのか伺う。
- 6 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」について、以下3点伺う。
- (1) 地域医療の充実について、「伊東市民病院が地域医療の中核を担う地域医療支援病院として、市内医療機関を積極的に支援し、適切な機能分担と連携をより一層強化する」とのことであるが、どの部分を強化し、地域医療の充実につなげていくのか伺う。
- (2) 新たに実施する初回産科受診料の公費助成についてその内容を伺うとともに、実施に至った背景及び期待する効果について伺う。
- (3) 避難行動要支援者の個別避難計画作成の進捗状況及び令和6年度の取組内容について伺う。
- 7 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」において、「新たな地域公共交通計画を策定し、交通空白地域の解消や利用促進に向けた取組等を行い、持続可能な地域公共交通の確保、維持を図る」とのことであるが、現状の課題を伺うとともに、それを踏まえ、今後の取組について伺う。

8 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」について、以下3点伺う。

(1) 小・中学校特別教室への空調設備の整備について、実施に至る経緯を伺う。

(2) 老朽化が見受けられる学校施設の修繕について、どのような優先度で行っていくのか伺う。

(3) 「多様な教育的ニーズに対応するとともに、児童生徒一人一人の状況に応じた適切な支援を行うため、支援員の適正な配置や教職員の研修を強化」していくとのことであるが、その取組内容を伺う。

9 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」において、観光会館のトイレ改修を行うとのことであるが、その内容を伺うとともに、将来的には新文化ホールの建設を見込む中、どのような見通しで実施するのか伺う。

10 「総合計画を推進するための土台づくり」において、「行政手続のオンライン化を推進する手法として、市公式LINEを活用し、市民の利便性向上を図るなど、市民ファーストで進める行政サービスのデジタル化に取り組む」ことであるが、デジタル化に取り組んでいく行政サービスの内容について伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊東未来 大 川 勝 弘

令和 6 年度伊東市一般会計予算案に関し、以下 3 点伺う。

- 1 令和 6 年度は、対前年度比で 1 2 億 2, 0 0 0 万円増額の 2 9 5 億 2, 0 0 0 万円の予算規模とし、近年においては最大の予算額となっている。歳入の根幹である市税が対前年度比で 1. 9 %減額している中において、近年最大規模の予算額となった要因について伺う。
- 2 自主財源比率について、前年度に続き 5 0 %を超える 5 1. 9 %となったが、この要因をどのように分析しているか伺うとともに、今後の推移について伺う。
- 3 以下の事業において、その事業内容及び今後の見通しを伺う。
  - (1) 第 2 款総務費
    - ア 自治会等支援事業
    - イ 魅力あるまちづくり事業
    - ウ 長期ビジョン策定事業
    - エ 伊東港・伊東港海岸整備基本構想策定事業
    - オ ふるさと伊東応援寄附金返礼事業
  - (2) 第 3 款民生費におけるはじめよう I T O 新生活応援事業

(3) 第4款衛生費における高齢者等予防接種事業のうち、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業

(4) 第7款観光商工費

ア H I K A R I にぎわい演出事業

イ 和文化演出活用事業

ウ 外国人観光客誘致活動推進事業

エ デジタルマーケティング事業

オ ロケツーリズム推進事業

(5) 第8款土木費における伊東駅周辺地区整備事業

(6) 第9款消防費における静岡県・伊東市総合防災訓練事業

(7) 第10款教育費

ア 小・中学校における空調設備設置事業

イ 幼稚園給食事業

ウ 新図書館建設事業における新図書館再設計業務委託料

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

政和会 杉 本 憲 也

令和 6 年度予算案及び施政方針について、以下 5 点伺う。

- 1 令和 5 年 1 0 月 2 日に副市長より発出された「令和 6 年度予算編成について（通知）」では、「事務事業の民間委託については、経費節減の手段であることを踏まえ、新たな委託の検討とともに、既に委託している事業についても委託料節減の見直しを行うこと。」と記載され、積極的な民間委託を推奨しているが、当該方針の意図を伺う。
  
- 2 一般会計歳出に関し、予算要求額は 2 9 6 億 5 , 6 5 2 万 6 , 0 0 0 円であったが、予算案では 1 億 3 , 6 5 2 万 6 , 0 0 0 円削減された額となった。市民ニーズに応えるためにはスピード感を持った事業実施が不可欠であることから、各課において予算執行後に残額が生じた場合、予算要求時から削減された事業などを追加して実施するための財源として活用できるか伺う。
  
- 3 予算を分かりやすく単純にするためには、補正予算を組むことなく確実に市民ニーズに応えられる事業の執行を可能とする予算額を当初予算として確保することが望ましいところ、本市における直近 1 0 年間の補正予算額は、年平均 3 2 億 2 , 6 5 6 万 5 , 0 0 0 円の増額となっていることに鑑み、令和 6 年度当初予算が、補正予算を見越して過少計上されたものではなく、現時点において年度中の市民ニーズに対応できるための必要十分な予算額として計上しているのか、本市の見解を伺う。

4 本市の財政状況に関して、これまでの議会答弁では厳しい旨の答弁を繰り返してきているにもかかわらず、令和6年度も一般会計予算歳出に5,000万円もの予備費を計上しており、財政余力があるように見受けられることから、予備費の積算根拠や適正性について、本市の見解を伺う。

5 下水道事業会計に関して、接続件数の増加を見込む一方で、下水道に流入する雨水量の大幅な増加が予想されるような事情が見受けられない中、対前年度当初予算比で有収率を減少と見込む要因について伺う。



## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

颯 田久保 眞 紀

令和 6 年度予算案及び市長施政方針について、以下 3 点伺う。

- 1 令和 6 年度市長経営方針では「輝く伊東の未来を創る、改革への挑戦」として、「将来の伊東のあり方を見据える中で、たゆみない改革に取り組み、事業の選択と集中、洗練と創設により、『未来を拓く取組』の一層の進展を目指す積極型予算案としてまとめた」とあるが、コロナ禍からの市税収入の伸び悩みや市内経済の V 字回復が見込まれない状況を踏まえ、令和 6 年度、積極型予算案により目指す成果及び本市の将来像をどのように考えているか伺う。
- 2 令和 6 年度当初予算案について、D X の推進に重点を置くとしていることから、令和 6 年度に D X を推進させるために取り組む事業を伺うとともに、今後、D X の推進により目指していく本市の将来像をどのように考えているか伺う。
- 3 新図書館建設事業において、コンセプトに掲げた「『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～」の実現に向け、再設計業務委託として 5, 4 0 0 万円の予算を計上しているが、再設計をどのように実施するのか伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

犬 飼 このり

1 本市の移住定住促進に係る事業について、以下2点伺う。

(1) 第2款総務費における移住定住促進住宅改修支援事業の概要を伺う。

(2) 第8款土木費における移住定住促進道路整備事業の実績及び今後の見通しを伺う。

2 第7款観光商工費におけるロケツーリズム推進事業の概要を伺うとともに、前年度当初予算と比較して増額とした理由及び期待する効果を伺う。

## 予 算 大 綱 質 疑 要 旨

重 岡 秀 子

1 伊東駅周辺地区整備事業に関し、以下2点伺う。

(1) 伊東駅前広場整備計画については、令和6年3月に住民説明会が予定されているが、同計画の進捗状況を伺うとともに、今後の見通しについて伺う。

(2) 駅前広場についてはこれまでも様々な要望が市民から上がっているが、どの程度計画に反映されるのか伺う。

2 サテライトオフィス等推進事業について、現状の成果を伺うとともに、今後どのように事業を展開していくのか伺う。

3 小野市長就任以来、ボトムアップによる市政運営として行っている「地域タウンミーティング」について、コロナ禍には参加者等を限定して実施してきたが、今後の実施方法について、どのように考えているか伺う。